

# 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： グループホーム出東ララ（第4回）  
施設種類： 認知症対応型共同生活介護  
日時： 令和7年11月7日（金） 14:30～16:00  
会場： グループホーム出東ララ会議室  
出席者

出雲市役所 職員	1名
高齢者あんしん支援センター 職員	1名
運営推進委員	2名
その他（理事長、管理者（施設長）、事務長、職員）	5名

## 意見・感想

### 議題1：夜間想定した避難訓練総評

#### 【運営推進委員からの感想】

- ・居室確認の可否を居室入り口の名札を床に置くことで居室確認済みの合図にしていることに、良い方法であると感じた。
- ・寝たきりの利用者さんの避難の仕方は？
- ・避難する方法として車椅子が不足しているのではと感じた。
- ・寒いからの理由で避難するのに立ち上がられない利用者さんにおいて、職員が落ち着いて対応していた。
- ・職員が何をすべきか、落ち着いて行動をとっていた。
- ・消防署へ通報の電話でのやり取りがベルの音で聞き取りにくい様子であった。

#### 【職員の感想】

- ・新規入居者の方は、今回初めての避難訓練の参加に寒いから動きたくない、拒否される場面もあったが、ご本人のペースに合わせながら、落ち着いて行動を促すことが出来た。
- ・初期消火後、事務室（通報装置場所）へ火災発生報告はしたが、別棟への火災発生を大声で伝えるべきであった。
- ・別棟で火災が発生したことの報告がなかったため我が棟は火災発生がわからなかった。わかる方法を検討する必要がある。
- ・避難経路である戸外のスロープ付近から第一避難場所までに地面箇所があり、車椅子が動きにくかった。地面を固めてスムーズに動かせるようにしていきたい。

### 議題2：施設の現状・入居者推移報告

#### 【運営推進委員からの感想】

- ・資料にBCP訓練の内容が載っていたが、職員の意志を統一するにも大切なことであると思う。

#### 【施設から回答】

- ・BCP 一括した訓練よりも、小分けにしての訓練及び研修の方が把握しやすく、今回は3回に分けて行った。(非常食の一環としてポリ袋クッキング、BCP策定の目的の確認、災害時での班分けの確認、連絡方法、夜間は、職員1人体制時の利用者避難対応等)
- ・気づきにも述べてるように、避難するに際して居室の環境整備を行う必要性を感じた。

### **議題3：ヒヤリハット・事故報告**

#### **【運営推進委員からの感想】**

- ・薬のヒヤリがある。その解決策はどう検討しているのか。

#### **【施設から回答】**

- ・配薬及び服用前のチェックは3重に行っている。今回の薬のヒヤリは、利用者さんが薬を口に入れられたものの後ほど口から出していたことのひやりハットであった。飲み込まれるまでそばにいて確認するようにした。
- ・今回備品のヒヤリハットが初めて上がった。開所して10数年経つと施設の器具備品に劣化が表れてきている。特に、日常気づきにくい箇所の確認をチェック項目シートに載せて行っていきたい。

次回の運営推進会議開催日を伝え、今回の会議を終了した。